愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や血液検査、画像検査のデータを使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	骨軟部肉腫患者における血液凝固能亢進に関する後方視的観察研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	整形外科 講師 藤渕剛次
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2030年3月31日
対象となる方	2003年4月から2025年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち骨軟部腫瘍と診断された18歳以上の患者さん
利用する試料・情報等	性別、年齢、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	<p>悪性腫瘍と血栓塞栓症との間には密接な関係があると言われており、がんの診断に先行または同時に出現する原因不明の血栓症（血管内で血の塊が生じて詰まること）も含めた幅広い概念を持つ疾患群をトルソー症候群と呼んでいます。この症候群は胃がんや膵臓がん、肺がん、リンパ腫、婦人科がん、膀胱癌、精巣がんなどに関連が深いと報告されていますが、骨軟部腫瘍と血栓症の関連についてはあまりよく知られていません。このため、本研究では骨軟部腫瘍と血栓症、血液凝固機能亢進の関連を明らかにすることを目的としました。これにより希少疾患である骨軟部腫瘍の治療中に生じる血栓症の予防に繋がり、治療成績の向上の一つの因子となるものと考えられます。</p> <p>当院の電子カルテより、患者背景（性別、年齢、身長、体重、BMI）、病理学的診断、血液凝固機能に関連する血液検査データ、血栓症の発生の有無などの項目を調査し、良性/中間群原発性骨軟部腫瘍と悪性原発性骨軟部腫瘍間での血液凝固機能の違い、経過中の血栓症の発生率の違いを明らかにします。また、腫瘍の転移や大きさ、悪性</p>

	<p>原発性骨軟部腫瘍と転移性骨軟部腫瘍間での血液凝固機能の違いや経過中の血栓症の発生率の違いを明らかにします。</p> <p>これらの検討から、悪性骨軟部腫瘍でも他のがんと同様に血栓症の危険性が高いのか、また、高いとすればどのような腫瘍において危険性が高く血栓症の発生に注意が必要であるかを検討し、今後の治療に生かします。</p>
個人情報保護 について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院整形外科 藤渕剛次 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5343</p>